

海洋汚染防止のためのプラスチック自動回収装置の紹介

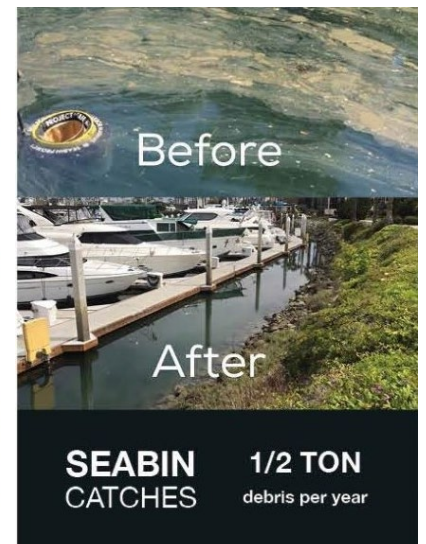
2018年より「マイクロプラスチック」と呼ぶ海を漂う微細なごみによる汚染対策に国際社会が乗り出し、その動きは加速している。国連は発生源となるプラスチックごみの削減を目指したキャンペーンや対策づくりを開始しており、日米独など主要7カ国（G7）も世界規模の海洋調査を行っている。そして、日本政府（環境省）も補助金をだして、様々な取り組みに乗り出し始めた。スターバックスは2020年までに容器に使用するプラスチックストローの使用を廃止することを宣言し、その他の企業にも協調する動きがみられる。海洋汚染を防止するためにプラスチックを回収する本製品はSeabinプロジェクトとして2014年に設立され2017年11月に販売開始された。現在はオーストラリア、ヨーロッパを中心に設置が増えてきている。



2015年9月「持続可能な開発サミット」が、ニューヨークの国連本部で開催され、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」（SDGs: Sustainable Development Goals）が194カ国の合意のもと採択された。SDGsは、途上国のみならず、先進国を含む全ての国の達成目標であり、日本政府もその達成にコミットしているため、本製品はNo14のSDGsへの取り組みとなる。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



Seabin (シービン) とは?



テクニカルデータ

シービンとは何か?

シービンは、マリーナ、ヨットクラブ、港湾、および穏やかな環境であれば、あらゆる水域の水中に設置されるように設計された浮遊タイプの装置である。

何ができますか?

シービンのキャッチバッグは **20kg** のゴミを保持可能であり、推定平均捕獲量は、**1日当たり 1,5kg** (天候およびゴミ量に依存する) であり、**2mm** 超の微小プラスチックもキャッチ可能である。これは、毎年 **1/2** トンを超えるゴミ量である。

どのように作業するか?

シービンは、潮流に浮遊するゴミを集めながら、上下に稼働する。水は水面から吸い込まれ、水と共に集まったゴミが吸い込まれる。そして **25,000** リットル/時を変位させることができる水中ウォーターポンプを備えたシービン内部の捕獲バッグを通過する。そして、水を水中にポンプで戻し、捕獲バッグにゴミがキャッチされるので、適切な方法で廃棄する。

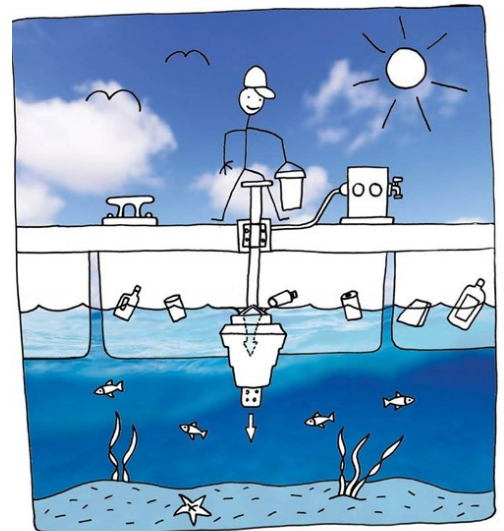
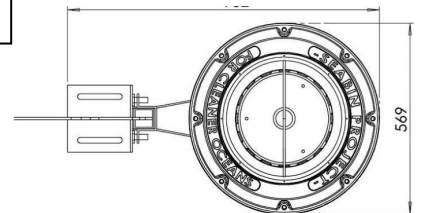
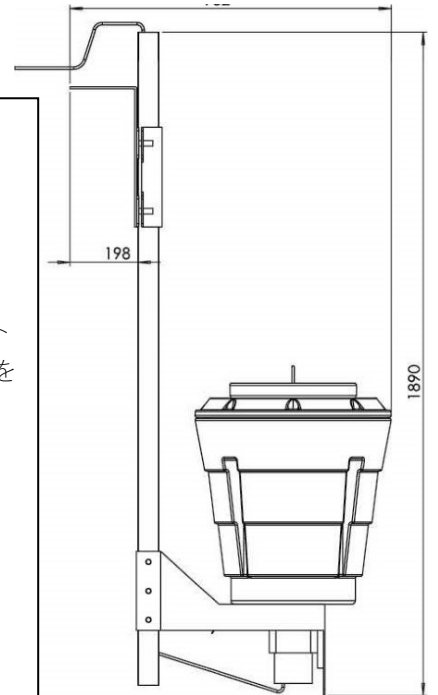
保守方法はどうですか?

捕獲バッグは、最大 **20kg** のゴミを保持することができ、**1日2回** チェックし、必要に応じて空にすることがお勧めであるが、シービンは、少なくとも月に **1回** は清掃し、定期的に点検する必要がある。

- 電力: 110V/220V - 500W
- 寸法 500x500 mm
- ブラケット 40 kg
- ポンプ: 25,000 リットル/時間
- HDPE (高密度ポリエチレン)
- 海洋グレードステンレスブラケット
- 2mm 超のマイクロプラスチックを取り込むことが可能
- 表層油や汚染物質の除去能力
- キャッチバッグ保持量 20kg
- ランニングコスト: 1日1ドル
- リユース可能な捕獲バッグ
- 長さ 6m の電気ケーブル
- 2年間の保証
- 太陽光発電への対応
- リサイクル可能な部品

Seabin の特徴

- 低コスト
- サイレント
- 水洗い時間の短縮
- 24時間7日稼働
- 500 廃棄物キロ/年



HOW THE SEABIN WORKS
UPSTREAM SOLUTIONS FOR CLEANER OCEANS



問合せ先

株式会社 平泉洋行
〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-19-6 柳橋ファーストビル 10階
機械ユニット 福澤 E-mail: fukuzawa@heisengp.co.jp
経営企画ユニット 池田 E-mail: t_ikeda@heisengp.co.jp
Tel: 03-3865-3621